

# キャリア支援通信

～架け橋～

第4号

長良特別支援学校  
キャリア支援部  
令和4年10月21日

「キャリア支援通信～架け橋～」では、キャリア教育に関する学校の取組や情報を発信しています。

キャリア教育は、日々の学校生活や家庭生活等の中で、生徒の個性や生活年齢に合わせ、小さい頃から少しずつ継続して積み重ねられるものです。特に高等部においては、「卒業後の自分の姿や目標」「社会とのつながり」「自分らしさを発揮すること」をイメージしながら、課題に取り組んでいます。

今回は、キャリア教育の視点から高等部の授業における取組や各福祉サービス等の利用の実際についてご紹介したいと思います。

また、小学部・中学部の取組についてもホームページで紹介していますので是非ご覧ください。

## 高等部訪問 2年 堀 智惺「新しい福祉サービス、始めました！」

現在、堀さんは週に3回、1回120分の授業をご家庭で受けています。学校以外に訪問入浴や訪問診療、訪問理学療法の予定が週4日入っています。さらに月に1回の定期通院や、不定期ですがすこやかでのショートステイも利用しています。そのような中で、卒業に向け、新たな『在宅訪問型児童発達支援』というサービスを受けることにしました。学校や医療機関だけではなく、

新たな社会へ繋がる自立に向けた取組として、挑戦することになりました。

この写真は、職員さんと一緒に活動したときのものです。初めての人と、初めての活動をするのは、緊張しないか心配でしたが、安定した体調で活動することができました。

今後は月に1回程度、土曜日に利用して、経験を積み重ねていきたいと思っています。

【ステップの職員さんと野菜スタンプ】



## 高等部2年1組「進路へ向けての取り組み」

2年生から進路へ向けての取組が、本格的に始まりました。オンラインでの在宅就労を目指して、様々な取り組みをしています。

6月には、岐阜県教育委員会 特別支援教育課が主催する、オンラインでの在宅実習プログラムに参加しました。私と同じ学年の、県内特別支援学校の生徒と一緒に実習を受けました。3日間の実習の前半は、プレゼンテーションソフトを使用してチラシ作りをしました。レイアウト、文字の色や大きさ等を考えて作るのはとても大変でした。しかし、出来上がったときには、達成感がありました。

後半はデータ入力に専念しました。データ入力では、入力ミスがないように、また、速度に注意して取り組むことが大切だと実感しました。

11月には企業でのオンラインでの実習に参加する予定です。実習では、初対面の方とのオンラインでのやり取りがあります。緊張や不安もありますが、将来の夢へ確実に近づけるように、今までの経験を活かして頑張っていきたいです。

# 高等部1年1組「職場等見学に行って」

私は、初めて就労移行支援事業所パッソ岐阜校へ見学に行きました。

行く前に事前学習として、「就労移行支援事業所」とはどういう所なのかを調べました。就労移行支援事業所は、障がいのある方が働くための練習をする場所だと知って、そんな所もあるんだと驚いたと同時に、自分も病気をもっているなので、興味がわいてきました。

実際に行って見学をすると、パッソ岐阜校では6つのことについて支援をしていることを知り、安心できるなあと思いました。その中でも、私は「グループワーク」が良いなと思いました。私はコミュニケーションが苦手なので、人のかかわりがもてると思いました。さらに、「就労準備」では、「自分の説明書」を作っていると聞き、私も学校で書いたことがあり、自分を知ることができるので良いことだなと感じました。私もいつか働くことになります。いろいろある中から仕事を見付けるのは難しいなど改めて感じ、また、どんなところで働きたいのか考えておくといいなと思いました。まずは、事務の仕事を目指して、仕事に必要なパソコンの練習をしていきたいと思えます。



【文・イラスト：棚橋 愛葉】

# 高等部2,3組「高等部作業学習・作業バザー」

高等部3組では、作業学習でミシンを使って布製品を製作しています。

4月～7月までは、ミシン操作の練習や直線縫いの練習を積み重ね、箸袋やコースターの制作に取り組んできました。自分が渡したい相手を挙げてもらい、その人にあった布の柄を決めました。製作する中で、タブレットで工程表を確認して、真っすぐでいねいに縫うことを意識して何度もやり直しをしながら完成させました。「〇〇さん、作業学習で〇〇を作りました、良かったら使ってください。」と言葉にも気を付けて製品を渡す姿が見られました。

9月からは、クッションカバーやエコバック作りに取り組んでいます。工程が多く製品も大きいため、一つ一つの作業をじっくりとていねいにこだわりながら時間いっぱい集中して、縫製しています。また、「〇〇先生、できたので確認をお願いします。」と働くことを意識して報告や連絡などもしています。



## 高等部4組C「授業で大事にしていること」

病棟でのベッドサイド学習では、卒業後の生活に生かすためコミュニケーションの勉強をしています。

Aさんは、あいさつの場面で身体に触れながら声を掛けるとかかわりに気付いて笑顔になります。また、Bさんは照明と本人の間に立って影をつくり、肩に触れて声を掛けるとリラックスしてかかわりを受け入れることができます。このように周りからのかかわりに気づき、心地よく感じたり受け入れたりするポイントは一人一人、様々です。

このポイントをふまえて、楽器鳴らしやダンス等の場面にも繰り返し取り組んでいると、心地良さに気づき笑顔になる場面が広がってきました。このようにかかわりを受け入れるポイントを見つけて、それを周りの方へ伝えていくことができれば、この先に出会う人々とのかかわりにも心地よさを感じながら生活ができると思います。



令和4年8、9月における岐阜、中濃地区の新規事業所をご紹介します。「岐阜県 事業所一覧」で検索すると岐阜県の公式ホームページに詳細が載っています。

公式ホームページアドレス <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/26315.html>

新しい事業所の一部です

サービス	事業所名	新規 or 移転	内容	住所
日中活動サービス	ワンダフル岐阜	新規	就労継続支援 B 型	岐阜市金町 1 丁目 5-1 河吾パーク 2 階
	さん・さん茜部	新規	生活介護 就労継続支援 B 型	岐阜市茜部本郷 1 丁目 6 番地 3 058-201-3317
	就労継続支援B型 MAPLU	新規	就労継続支援 B 型	関市西本郷通 5-123-1 0575-23-2888
	就労継続支援 B 型 ヤマト	新規	就労継続支援 B 型	美濃加茂市田島町 1-147 0574-42-8620
	サブカルビジネスセンター 岐阜	新規	就労継続支援 B 型	岐阜市吉野町 6 丁目 31 番地 岐阜スカイウイング 37 東棟 103 号室 058-201-6139
	就労継続支援 B 型事業所 らいず	新規	就労継続支援 B 型	羽島郡岐南町三宅 2-19 058-249-4818
短期入所	指定短期入所 グループホームほうきぼし	新規	短期入所	可児郡御嵩町御嵩 535-2 0574-67-6475
	短期入所 ステイベア	新規	短期入所	岐阜市茜部新所 1 丁目 98 番地 2 4 階 058-214-8110
共同生活援助	グループホーム リハビリランドさぎ山東 I	新規	グループホーム	岐阜市鷺山東 2 丁目 5 番 44 号 058-294-0410
	グループホーム and[s]	新規	グループホーム	岐阜市萱場南 1 丁目 9 番地 10 ジュネス NIKKO 101 号室 058-201-0730
	共同生活援助 わらくの家	新規	グループホーム	岐阜市日野南 3 丁目 8 番 6 058-377-3294
	グループホームあおぞら	新規	グループホーム	羽島市江吉良町 1350 058-260-5285
	グループホーム スマイルハウス笠松	新規	グループホーム	羽島郡笠松町田代 354-1 090-7673-8380